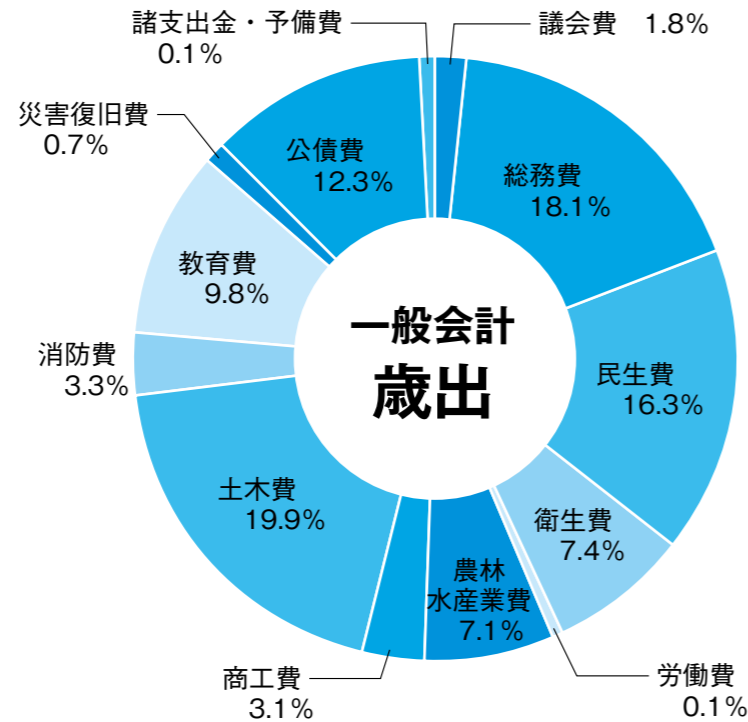


令和2年度一般会計の主な事業

(単位：千円)

<b>■ 総務費</b>	<b>689,740</b>
ふるさと納税推進事業	66,787
村営バス運行事業	48,706
地域活性化推進事業	30,190
広域行政の推進事業	19,314
移住支援事業	1,000
<b>■ 民生費</b>	<b>622,249</b>
障害福祉事業	134,379
児童福祉施設費	107,896
老人福祉事業	90,894
児童手当	40,125
<b>■ 衛生費</b>	<b>281,765</b>
へき地診療所運営費繰出金	68,500
広域行政の推進事業	48,878
ごみ収集事業	17,196
<b>■ 農林水産業費</b>	<b>269,383</b>
中山間地域等直接支払交付金事業	64,537
多面的機能支払交付金事業	25,860
強い農業・担い手づくり総合支援交付金	14,850
棚田サミット実行委員会負担金	8,000
中山間地域等農業機械導入支援事業	6,000
<b>■ 商工費</b>	<b>118,186</b>
地域活性化促進事業	41,331
観光振興事業	27,718
プレミアム商品券発行事業	4,300
耐折いでゆ館・カルテラ温泉館ウォシット切替事業	1,205
<b>■ 土木費</b>	<b>759,232</b>
村道除排雪対策事業	131,500
道路維持事業	120,994
村道合海大坪線道路改良事業	114,600
村道柳瀬豊牧線雪崩防止柵設置事業	61,000
除雪車購入事業	50,500
合海定住促進団地住宅建築支援事業	11,870
<b>■ 消防費</b>	<b>127,205</b>
広域行政の推進事業	64,914
消防ポンプ積載車購入事業	12,460
消火栓設置及び更新事業	9,307
消防施設整備費	5,921
<b>■ 教育費</b>	<b>371,724</b>
小・中学校管理運営事業	95,101
スクールバス運行管理事業	48,420
大蔵中学校長寿命化改修事業	44,900
おおくら未来塾事業	4,000
<b>■ 災害復旧費</b>	<b>25,563</b>
公共土木施設災害復旧事業	17,535
農林水産業施設災害復旧事業	3,840



村民1人あたりの予算額

約1,207,989円

(令和2年2月29日現在 人口：3,154人)

一般会計の概要  
令和2年度一般会計の当初予算総額は38億1千万円で、前年度当初予算に比べ2億2千万円、率にして6・1%の増となっています。

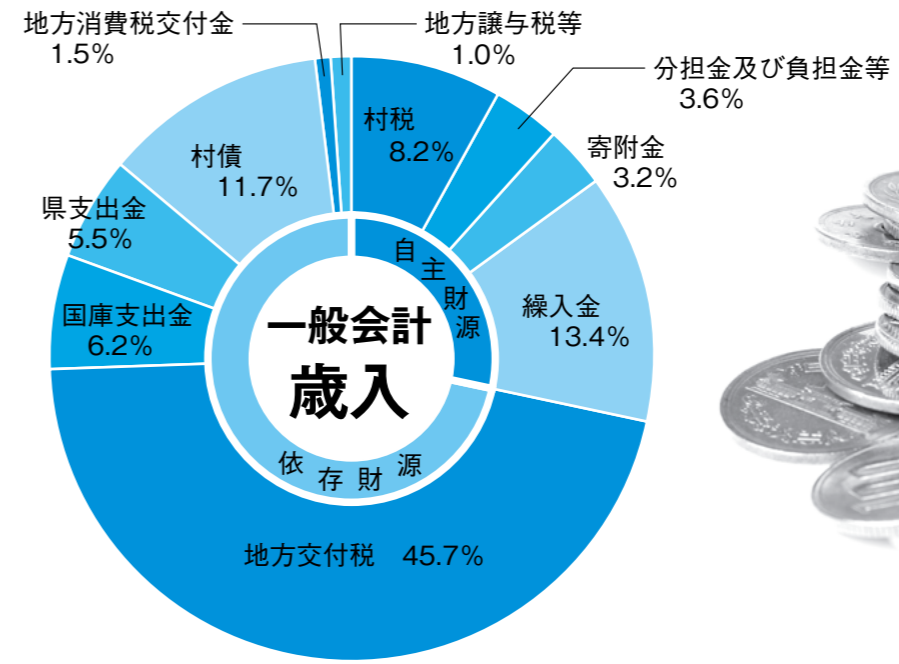
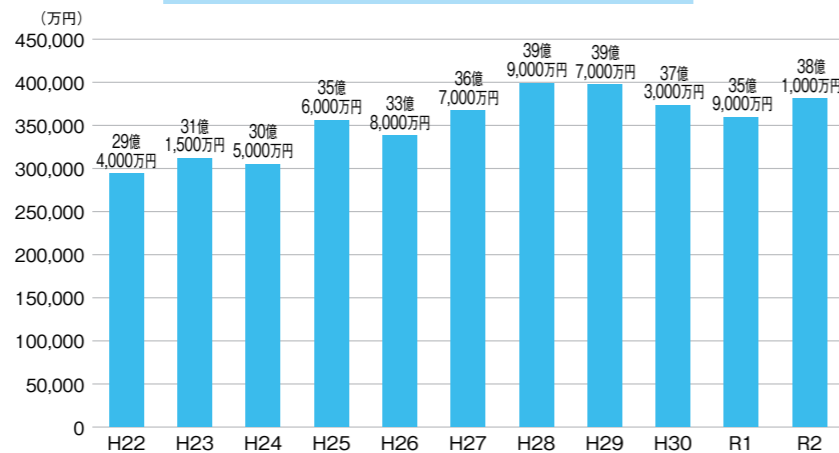
歳入は、地方交付税や村債、国、県支出金の割合が非常に大きくなっており、国の地方財政対策の動向次第で村の財政運営が大きく左右されてしまう可能性があります。課税客体の極めて少ない本村では、村税などの自主財源確保に努めています。

歳出は、土木費が全体の19・9%を占め、続いて総務費18・1%、民生費16・3%、公債費12・3%となっています。土木費の主な事業としては、村道合海大坪線道路改良事業、村道柳瀬豊牧線雪崩防止柵設置事業などが挙げられます。また教育費において、令和2年度から2か年で大蔵中学校長寿命化改修事業を予定しています。

特別会計は、特定の事業を行う場合、その特定の歳入をもって特定の歳出に充てられるために設置される会計で、村には7つの特別会計があります。簡易水道事業特別会計では、安心安全な水の供給のための肘折浄水場膜ろ過設備設置事業が最終年度を迎えます。へき地診療所特別会計では、内視鏡ビデオスコープシステム装置の更新を予定しています。団地造成事業特別会計は、整備した7区画が全て売却されたため、令和元年度末で特別会計を廃止しました。特別会計予算額の合計は前年度比7千120万円(4・4%)の減となりました。

今後とも「最小の経費で最大の効果を上げる」という地方自治の本旨にのっとり健全な行政運営に努めていきます。

一般会計の当初予算額の推移



令和2年度 一般会計当初予算 (前年度比 2億2,000万円の増)

**38億1,000万円**

一般会計の概要  
令和2年度一般会計の当初予算総額は38億1千万円で、前年度当初予算に比べ2億2千万円、率にして6・1%の増となっています。

歳入は、地方交付税や村債、国、県支出金の割合が非常に大きくなっており、国の地方財政対策の動向次第で村の財政運営が大きく左右されてしまう可能性があります。課税客体の極めて少ない本村では、村税などの自主財源確保に努めています。

歳出は、土木費が全体の19・9%を占め、続いて総務費18・1%、民生費16・3%、公債費12・3%となっています。土木費の主な事業としては、村道合海大坪線道路改良事業、村道柳瀬豊牧線雪崩防止柵設置事業などが挙げられます。また教育費において、令和2年度から2か年で大蔵中学校長寿命化改修事業を予定しています。

特別会計は、特定の事業を行う場合、その特定の歳入をもって特定の歳出に充てられるために設置される会計で、村には7つの特別会計があります。簡易水道事業特別会計では、安心安全な水の供給のための肘折浄水場膜ろ過設備設置事業が最終年度を迎えます。へき地診療所特別会計では、内視鏡ビデオスコープシステム装置の更新を予定しています。団地造成事業特別会計は、整備した7区画が全て売却されたため、令和元年度末で特別会計を廃止しました。特別会計予算額の合計は前年度比7千120万円(4・4%)の減となりました。

今後とも「最小の経費で最大の効果を上げる」という地方自治の本旨にのっとり健全な行政運営に努めていきます。

令和2年度特別会計予算額

会計名	本年度	前年度	増減率(%)
国民健康保険特別会計	3億9,760万円	4億700万円	△ 2.3
簡易水道事業特別会計	2億1,720万円	2億7,990万円	△ 22.4
特定環境保全公共下水道事業特別会計	1億6,410万円	1億6,350万円	0.4
へき地診療所特別会計	2億2,580万円	2億3,790万円	△ 5.1
介護保険特別会計	4億6,650万円	4億6,100万円	1.2
浄化槽整備事業特別会計	3,240万円	2,380万円	36.1
後期高齢者医療特別会計	3,790万円	3,630万円	4.4
団地造成事業特別会計	-	330万円	皆減